

故郷（ふるさと）野付の自然 15

10月11日 赤く色付く湿原

秋の深まりと共に、野付半島の森が様々な色に紅葉し始めました。

そして、森だけでなく湿原も真っ赤に染まっています。その赤い色の正体は、厚岸草（アッケシソウ）です。別名にその姿形からサンゴ草とも言われていますが、塩分に強いために、湿原の周りには沢山生えています。有名なのは網走の能取湖ですが、野付半島も実は、見事な厚岸草の紅葉が見られます。

10月一杯までが見頃ですね。



10月11日 エゾシカに樹皮を食べられたミズナラ

右の写真には、の樹はミズナラですが、冬の間には餌に困ったエゾシカたちによって食べられた跡です。

エゾシカにとっては冬の間の貴重な食べ物ですが、ミズナラにとっては、幹を一周されるほど食べられると、根から吸い上げた水が、樹の上のほうまで行かなくなり、枯れてしまいます。ここまで大きくなるのに数百年はかかる野付のミズナラですので、これは大きな問題ですね。

